

雨は降る降る

百余年の歳月を経て
いまなお聞こえる武士の声。

「夜はすでに明けはなれて

山霧まうたく霽はれ

雨足もまた疎らになった。

官軍は屍を踏んで田原坂に

進んだ。

薩の哨兵が、

本塁にこれを

報ずると、

防守の望み

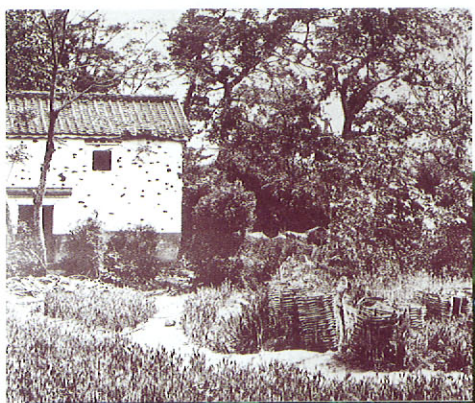
すでになしと覚ったか、

塁を棄てて退却した」

—日本合戦譚 (菊池寛著)

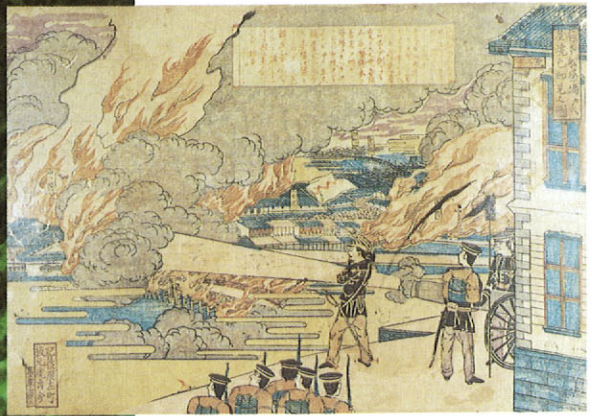


明治十年二月十五日、西郷隆盛率いる薩軍一
万三千の兵は、政府に対し尋問の筋あり」と
して鹿兒島を出発し東上を開始。八ヶ月にも
及ぶ西南の役の開戦である。
この戦いでもっとも激しい攻防が繰り広げ
られたのが田原坂。同年三月四日から二十日
までの十七昼夜、冷たい雨が降る日が多かっ
たなか、一日数十万発の銃弾を打ち合う死闘が、
まぎれもなくこの小さな丘で繰り返された。
この戦いに動員された兵員数は両軍合計十
万人、死者三万六千人という、わが国最大最
後の内乱となった。
今から百十年前のことである。



越すに越されぬ

人馬は濡れる



時代劇「田原坂」年末放送予定!!
熊本から全国へと響きわたる「田原坂」の名。
田原坂を舞台とした大型ドラマが
年末に全国放映されます。

田原坂